

令和 7 年 1 0 月 3 1 日

入札参加者各位

さいたま市長 清水 勇人

総合評価方式に係る入札説明書

下記工事の入札を総合評価方式によって実施します。入札に参加する意向がありましたら、下記要領により自己採点申請書を作成し、入札時に「埼玉県電子入札共同システム」により提出してください。

また、第一順位者に決定した者は、下記要領により作成した技術資料を提出してください。なお、技術資料様式の不備又は添付資料に漏れがあった場合は、技術資料の提出締切日の翌日から起算して 3 日以内（閉庁日を除く。）に提出があった場合は有効とし評価を行います。3 日を超えた場合は評価を行いません。

記

1 工事名及び工事場所

- (1) 工 事 名：氷川緑道西通線（北区間）埋設物撤去工事
- (2) 工事場所：さいたま市大宮区宮町 2 丁目地内

2 自己採点申請書

- 入札時に「入札書」、「入札金額見積内訳書」とともに「自己採点申請書」を原則として「埼玉県電子入札共同システム」により提出してください。やむを得ず、さいたま市電子入札運用基準 7－1「紙入札による提出」の承認を得たものは、自己採点申請書を入札公告に示す入札書提出期間内に書面又は C D－R を持参のうえ、提出してください（期間内必着）。
- 自己採点申請書及び入札金額見積内訳書は、「入札情報公開システム」の「発注情報」にある添付ファイル「【自己採点申請書兼入札金額見積内訳書】氷川緑道西通線（北区間）埋設物撤去工事.xlsx」を使用してください。
- 評価基準、配点に基づく自社の申告点を正確に記入してください。なお、未記入や配点以外の申告点の記入があった場合には、その項目を「0 点」として扱います。また、「企業の信頼性について」は、未記入や配点

以外の申告点の記入があった場合には、評価項目それぞれについて「－2点」として扱います。

- 入札時に「入札書」、「入札金額見積内訳書」とともに「自己採点申請書」が提出されない場合、入札は無効として取り扱います。
- 自己採点申請書の記載に不備がある場合、入札が無効になることがあります。

3 総合評価に関する事項

(1) 入札の評価に関する基準

各評価項目について、公告時点で有効な「さいたま市総合評価方式活用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき加点評価します。

総合評価方式は、特別簡易型とします。

(2) 落札者の決定方法

- 無効や失格を除いた入札価格が予定価格の制限の範囲内にあるもののうち、入札価格と自己採点申請書の技術評価点から算出した評価値の最も高いものを第一順位者とします。
- 第一順位者から提出された技術資料を評価した結果、評価値が最も高い場合は落札候補者とし、次順位の評価値を下回った場合は、次順位の者から技術資料の提出を求め、評価値の算出を行うものとします。
- 技術資料の評価は技術資料様式に記入された内容を添付資料により確認して採点します。
- 各評価項目の評価点は自己採点申請書による評価値と第一順位者から提出された技術資料により採点した評価値を比較して、低い方の値とします。
- 落札候補者が入札参加条件を満たしていればその者を落札者とします。満たしていない場合は改めて第一順位者を決定します。

除算方式

$$\text{評価値} = \frac{\text{技術評価点}}{\text{入札価格}} = \frac{\text{標準点（基礎点）} + \text{加算点}}{\text{入札価格}}$$

※標準点（基礎点）は100点とする

※加算点の上限は、特別簡易型20点とする

※入札価格は、億円単位（例：1億5千万円の場合は1.5）とし、
消費税及び地方消費税を含まない

※評価値は、小数点以下4位までとし、5位を四捨五入する

4 工事概要及び評価項目の選定概要

別添 様式4－1

5 評価項目の対象及び評価点

別添 様式5

工事概要及び評価項目の選定概要（特別簡易型・除算方式）

工 事 名：氷川緑道西通線（北区間）埋設物撤去工事

工事場所：さいたま市大宮区宮町 2 丁目地内

1 工事概要

（1）工事延長 ー

（2）工事幅員 ー

（3）施工内容 基礎杭撤去工 一式

2 選択評価項目の選定理由

（1）項目_____

選定理由_____

評価項目の対象及び評価点の配点表

工 事 名： 氷川緑道西通線（北区間）埋設物撤去工事

型 式： 特別簡易型

工事場所： さいたま市大宮区宮町 2 丁目地内

業種別： とび・土工事業

特別簡易型	簡易型	技術提案型	項 目	評 価 項 目	ガイドライン における配点	特別簡易型	該当	配点	簡易型、 技術提案型の 配点	簡易型	技術提案 型
－	①	－	施工計画の適切性 (簡易型)	発注者が指定した 施工上の課題への的確性					5.0	◎	
				工程管理の適切性					3.0	◎ (1項目 選択)	
				品質管理の適切性					3.0		
				安全管理の適切性					3.0		
				施工上配慮すべき事項の適切性					5.0		
①	②	①	企業の技術能力	施工実績				2.0	◎	◎	
				工事成績評定(業種別※1)	2.0	◎	◎	2.0	2.0	◎	◎
				さいたま市優秀建設工事業者表彰 (業種別※1)	1.0	◎	◎	1.0	2.0	◎	◎
				I S O 認証の取得	1.0	◎	◎	1.0	2.0	◎	◎
②	③	②	配置予定技術者の 技術能力	保有資格	1.0	◎	◎	1.0	1.0	◎	◎
				施工経験				2.0	◎	◎	
				工事成績評定(業種別※1)	2.0	◎	◎	2.0	2.0	◎	◎
				継続教育(C P D)の取組み状況	2.0	◎	◎	2.0	2.0	◎	◎
				若手技術者の配置	2.0	◎	◎	2.0			
				工事成績評定(直近)(業種別※1)				2.0	選択	選択	
				専門性を要する資格				2.0	選択	選択	
				ヒアリング				専門技術力	2.0	選択	選択
								当該工事の理解度・取り組み姿勢	2.0	選択	選択
								対応能力	2.0	選択	選択
③	④	③	企業の社会性や地域 で安心・安全な工事 を実施する能力	労働福祉の状況				2.0	◎	◎	
				次世代育成支援	2.0	◎	◎	2.0	2.0	◎	◎
				若手技術者の雇用状況	2.0	◎	◎	2.0	1.0	選択	選択
				週休2日確保・建設機械保有・ C C U S 登録状況	2.0	◎	◎	2.0			
				地理的条件				2.0	選択	選択	
				地域の安心・安全への貢献の実績	2.0	◎	◎	2.0	2.0	選択	選択
				ボランティア活動の実績				2.0	選択	選択	
				手持ち工事量(業種別※1)	2.0	◎	◎	2.0			
④	⑤	④	企業倫理や信頼性等	企業の信頼性 (複数該当時はその配点を累加)	-6.0	◎	◎	-6.0	◎	◎	
⑤	⑥	⑦	その他	市内下請け	1.0	◎	◎	1.0	1.0	選択	選択
				材料調達(材料等示す)	1.0	選択	－	－	1.0	選択	選択
－	－	⑤	技術提案 (技術提案型)					6.0		◎	
－	－	⑥	技術提案を実現するための施工計画 (技術提案型)					12.0		◎	
配点合計					(必須項目)	(22.0)		22.0	(必須項目)	(27.0)	(37.0)
加算点上限						20.0		20.0		30.0	40.0

※1 告示に記載の参加資格における名簿登載業種と同じ業種とする。

◎は必須評価項目

6 技術資料

第一順位者が提出する技術資料は、下記のとおりです。

① 企業の技術能力

必須評価項目

評価項目	提出書類・技術資料について
工事成績評価 業種別（とび・土工工 事業）	1. 様式－3（下記に該当する場合は、必ず提出） 特定共同企業体で受注した工事で、公告日の属する年度の前年度及び前々年度に、本市の工事完成検査を受け、その後工事成績評価を受けている場合は、工事成績評価の写しを添付 契約年度は問いませんので、注意すること 2. 4 者以上の特定共同企業体については出資比率のわかる資料を添付 3. 受注した工事が、公告日の属する年度の前年度及び前々年度に、本市の工事完成検査を受け、その後工事成績評価を単体企業のみで受けている場合は、様式－3 及び添付資料の提出は不要 ・公告日の属する年度の前年度及び前々年度に、本市の工事完成検査を受けた工事の工事成績評価により評価します。 ・入札参加者を特定共同企業体としている場合は、全ての構成員の対象工事の平均点で評価します。

さいたま市優秀建設 工事業者表彰 業種別（とび・土工工 事業）	1. 単体企業で受賞がある場合は、提出書類不要 2. 特定共同企業体で受賞がある場合は、様式－4 及び出資比率が分かる書類 ・ 公告日の属する年度の前年度及び前々年度におけ る本市の優秀建設工事業者表彰の実績により評価 します。 ・ 特定共同企業体による受賞者は、得点を出資比率 により配分します。 なお、単体企業での受賞がある場合は、単体企業 での受賞を優先し、複数の特定共同企業体での受 賞がある場合は、得点の高いものを優先します。 ・ 対象工事の入札参加資格における名簿登載業種と 同じ業種の表彰を対象とします。 ・ 業者部門における表彰を対象とします。（技術者部 門における表彰は評価の対象としません。）
I S O 認証の取得	1. 様式－5（認証の有無は、必ず記載すること） 2. I S O 認証（エコアクション21を含む。）取得 証の写し ・ 入札参加者を、特定共同企業体としている場合 は、全ての構成員が提出してください。 ・ 有効期限は、技術資料の提出締切日を基準とする ので注意すること。

② 配置予定技術者（※2）等の技術能力

保有資格、工事成績評定（業種別）及び継続教育（CPD）の取組み状況の評価項目における配置予定技術者、並びに若手技術者の配置についての配置予定技術者及び現場代理人は、当該工事に配置する予定者の氏名等を記載してください（姓が変更になっている場合は、旧姓も併せて記載してください。）。

なお、提出された技術資料に基づき評価をするため記載された配置技術者及び現場代理人の変更は原則としてできません。

実際の施工にあたって技術資料に記載した配置予定技術者又は現場代理人を変更できるのは、病気、死亡、退職等の極めて特別な場合に限りです。

その場合、変更できる技術者は、評価点が同等以上の者とします。

配置予定技術者又は現場代理人を1名に特定できない場合は、複数の技術者（配置予定技術者と現場代理人とを合わせて3名まで）を、配置予定技術者又は現場代理人とすることができます。

例 1) 配置予定技術者 A、配置予定技術者 B、現場代理人 C

例 2) 配置予定技術者 A、現場代理人 B、現場代理人 C

この場合、技術資料は、すべての配置予定技術者及び現場代理人について提出するものとし、配置予定技術者及び現場代理人の評価点は、最も低い評価（これに係る評価点の和が最低）となる者の自己採点をもって算定します。ただし、各評価項目の評価点は自己採点申請書に記載された値を上限とします。

なお、受注後、技術資料に示された配置予定技術者及び現場代理人をやむを得ない事情等により変更する場合には、必ず監督員と書面により協議を行い、承諾を受けてから変更してください。

※ 2 配置予定技術者とは建設業法第 26 条の主任技術者又は監理技術者を示します。

必須評価項目

評価項目	提出書類・技術資料について
保有資格	1. 様式－6 2. 資格証の写し 3. 3ヶ月以上雇用していることが証明できる書類（健康保険被保険者証の写し） ・主任（監理）技術者は、建設業法第 26 条で定めている者としてします。 ・入札参加者を、特定共同企業体としている場合は、代表構成員の主任（監理）技術者として配置される技術者を評価します。 ・監理技術者証の写しは不要です。

工事成績評定 業種別（とび・土工 事業）	1. 様式－7（下記に該当する場合は、必ず提出する。） 特定共同企業体に従事した工事で、公告日の属する年度の前年度及び前々年度に、本市の工事完成検査を受け、その後工事成績評定を受けている場合は、工事成績評定の写し及びCORINSの写しを添付 契約年度は問いませんので、注意すること 2. 4者以上の特定共同企業体については出資比率のわかる資料を添付 3. 従事した工事が、公告日の属する年度の前年度及び前々年度に、本市の工事完成検査を受け、その後工事成績評定を単体企業のみで受けている場合は、様式－7及び添付資料の提出は不要 ・公告日の属する年度の前年度及び前々年度に、本市の工事完成検査を受けた工事の工事成績評定により評価します。 ・元請けの主任（監理）技術者、現場代理人として工事完成時点に従事していた工事を評価の対象とします。 ・特定共同企業体で受注した工事で、公告日の属する年度の前年度及び前々年度に、本市の工事完成検査を受けその後工事成績評定を受けている工事に従事していた場合、CORINSに登録されていれば評価対象とします。 ・入札参加者を、特定共同企業体としている場合は、代表構成員の主任（監理）技術者として配置される技術者を評価します。
-------------------------------------	--

継続教育（CPD）の 取り組み状況	- 様式－6（指定する団体での取組みの有無は、必ず記載すること） 有の場合は、下記2に示す証明書を添付すること 指定団体の発行する証明書を添付できない場合は、無とすること - 指定団体の発行する証明書の写し （単位数、証明期間のわかるもの） - 実績は、配置予定技術者に指定した技術者について提出してください。 - 証明期間は、公告日から起算して過去2年間の内、任意の1年間とします。 - 入札参加者を、特定共同企業体としている場合は、代表構成員の主任（監理）技術者として配置される技術者を評価します。 - 各工事業共通・・・（公社）日本技術士会 50 単位/年 - 土木系 土木工事業・・・（一社）全国土木施工管理技士会 連合会 20 ユニット/年 （公社）土木学会 50 単位/年
若手技術者の配置	- 様式－6－2（必須）、様式－6－3（主任技術者で資格要件が実務経験の場合提出） - 生年月日及び3ヶ月以上雇用していることが証明できる書類（健康保険被保険者証の写し 等） - 配置予定技術者については、資格要件を満たす国家資格等の資格証の写し（監理技術者は必須） - 配置予定技術者と同一人物の場合は2、3の書類の提出は不要になります。 - 公告日時点で、35歳（40歳）未満（公告日の翌日以降に満35歳（40歳）の誕生日を迎えるもの）の技術者で継続して3ヶ月以上雇用されており、かつ配置する場合を評価の対象とします。 - 入札参加者を、特定共同企業体としている場合は、全ての構成員が該当するものを評価します。

③ 企業の社会性や地域で安心・安全な工事を実施する能力

必須評価項目

評価項目	提出書類・技術資料について
次世代育成支援	1. 様式－9（届出の有無は、必ず記載すること） 2. 一般事業主行動計画策定・変更届の写し 3. 一般事業主行動計画の写し 4. 次世代育成支援対策推進法第15条の2の規定による認定を受けている場合は、特例認定書の写し ・ 同法第12条第1項若しくは第4項に基づく届出。同法施行規則第1条の2及び第2条に基づく届出（次世代法・女性活躍推進法 一体型策定届）、又は同法15条の2の規定による認定 ・ 一般事業主行動計画における計画期間の有効期間は、技術資料の提出締切日を基準とするので注意すること。 ・ 入札参加者を、特定共同企業体としている場合は、全ての構成員が該当するものを評価します。
若手技術者の雇用状況	1. 様式－10 2. 生年月日及び3ヶ月以上雇用していることが証明できる書類（監理技術者資格者証の写し、健康保険被保険者証の写し 等） 3. 資格証の写し ・ 配置予定技術者、「若手技術者の配置」の若手技術者と同一人物の場合は、2、3の書類の提出は不要になります。 ・ 保有資格は、当該工事に関連する資格に限ります。また、1級国家資格者（建設業法による1級技術検定に合格した者）及び技術士の資格は、該当する種目や部門に限ります。 ・ 公告日の時点で、40歳未満（公告日の翌日以降に満40歳の誕生日を迎えるもの）の技術者を継続して3ヶ月以上雇用している場合を評価の対象とします。該当する1名を記載してください。 ・ 該当技術者の発注工事への配置は不要です。 ・ 入札参加者を、特定共同企業体としている場合は、全ての構成員が該当するものを評価します。

週休２日確保・建設機械保有・CCUS登録状況	１．様式－１１ ２．さいたま市週休２日確保ステップアップ試行工事実施証明書（以下「実施証明書」という。）の写し ・公告日時点で、実施証明書の「完成検査日」が過去１年間以内の範囲の日付となっているものを提出してください。なお、過去１年間以内に「さいたま市週休２日ステップアップ試行工事」を複数回実施している場合には、その中で本評価項目における得点が最も高い実施証明書を提出してください。 ・さいたま市週休２日確保モデル工事に関する書類の提出は不要です。 ・入札参加者を、特定共同企業体としている場合は、全ての構成員が該当するものを評価します。 ３．経営規模等評価結果通知書の写し ・公告日時点で、有効な「経営規模等評価結果通知書」の建設機械の保有状況の有無を評価します。 ・入札参加者を、特定共同企業体としている場合は、全ての構成員が該当するものを評価します。 ４．建設キャリアアップシステム（CCUS）事業者ID確認資料 ・建設キャリアアップシステム（CCUS）事業者情報新規登録完了時（又は事業者ID確認問い合わせ時）に送付される、事業者IDの確認できる資料の有無を評価します。 ・入札参加者を、特定共同企業体としている場合は、全ての構成員が該当するものを評価します。
地域の安心・安全への貢献の実績	１．様式－１２ ２．協定書又は契約書の写し ３．活動を実施した場合は、活動内容が証明できる書類(案内図、写真等) ４．協定・契約に基づく、本市からの要請・指示等による活動を実施した場合は、要請・指示による活動であることが証明できる書類(指示書等) ・活動実績は、公告日から起算して過去５年以内に

	「さいたま市との協定・契約に基づく指示等による災害時協力活動」又は「本市内で自主的に行った公共性のある災害時協力活動」を行った実績を評価の対象とします。その中から評価対象とする実績を1件記載してください。 ・公告日において、さいたま市との間に災害時協力活動に関する協定又は契約を締結している場合も評価の対象とします。なお、活動実績と重複しての評価は行いません。 ・協定又は契約は、さいたま市長又はさいたま市水道事業管理者と締結しているものとします。 ・「災害時協力活動」とは、地震、風水害、雪害等の災害時における応急復旧等の活動をいいます。 ・「災害時協力活動に関する契約」とは風水害に関する「緊急洪水対策業務」や、地震・雪害に関する「災害緊急業務」などの請負契約が該当します。 ・災害時協力活動として行った、パトロールの実績は本市からの要請・指示によるもののみ評価します。なお、防災訓練等への参加実績は評価対象外とします。 ・入札参加者を、特定共同企業体としている場合は、全ての構成員が該当するものを評価します。
手持ち工事量 業種別（とび・土工工 事業）	1. 様式－14 ・当該年度に発注した総合評価方式の公告日時点における受注工事件数を記入してください。 ・入札参加者を、特定共同企業体としている場合は、いずれかの構成員が該当するものを評価します。なお、当該工事の特定JVと同じ構成員が2者以上重複して含まれている場合は、1件とします。

④ 企業倫理や信頼性等

必須評価項目

評価項目	提出書類・技術資料について
企業の信頼性	1. 提出書類は不要 ・ 公告日から起算して過去2年間にさいたま市建設工事等請負業者入札参加停止要綱による入札参加停止措置やさいたま市の締結する契約からの暴力団排除措置に関する要綱による入札参加除外措置の有無について評価します。 ・ 公告日の属する年度の前年度及び前々年度におけるさいたま市発注の総合評価方式による工事での提案事項履行の有無について評価します。 ・ 公告日の属する年度の前年度及び前々年度におけるさいたま市発注工事の工事成績評定65点未満の有無について評価します。 ・ 特定共同企業体を構成して施工した工事も評価対象とします。 ・ 入札参加者を、特定共同企業体としている場合で、いずれかの構成員が減点の対象となっている場合は、その構成員を含む特定共同企業体に対して減点評価します。

⑤ その他

必須評価項目

評価項目	提出書類・技術資料について
市内下請け	1. 様式－15 ・ 下請負人使用の有無と市内に本店を有する企業の選定の有無を記載してください。 ・ 1次下請負について記載してください。

7 技術資料の提出

(1) 第一順位者になった場合の提出資料

- 第一順位者になりましたら、提出期限までに自己採点の根拠となる「技術資料」【表紙（提出日記入）、合併等申告書、様式、添付資料等】を提出してください。
- 技術資料作成に用いる様式は、埼玉県電子入札共同システムに添付されている「【技術資料様式（第一順位者用）】氷川緑道西通線（北区間）埋設物撤去工事.xlsx」を使用してください。

(2) 提出方法

技術資料は、CD-R又はファイル転送サービスによって提出するものとします。ファイル転送サービスを利用する場合は、第一順位者になった際に契約課工事契約第2係までご連絡ください。

第一順位者に決定したとき・・・対象評価項目すべての技術資料（自己採点申請書を含みます。）をCD-Rに書き込み契約課へ持参、又は契約課から送付されたURLにアクセスしてアップロード（ファイル転送サービス）。（同時に複数の総合評価方式の入札に参加する場合であっても同様の提出方法とします。）

提出した技術資料に不備があったとき・・・電子メールにて契約課へ送付。

<メール送付の注意事項>

- 変更又は新規追加がある場合は、該当するもののみ提出してください。
- メールを受信容量は1通あたり10MBまでのため、それを超える場合はファイル転送サービスを利用、又はメールの分割や圧縮を利用し送信してください。なお、本市はセキュリティ対策としてメールの無害化を行っているため、それにより、画像を含む添付ファイルの容量が数倍程度肥大化することがあり、受信容量制限でメールが届かないことがあります。また、メールの無害化に1～2時間かかる場合があります、タイムアウトで添付ファイルが削除

となることがあります。そのため、締切時間までに確実な方法で提出できるよう注意してください。

- メールの件名欄には、工事件名の前に必ず「総合評価技術資料」と明記してください。

例：総合評価技術資料 ○○号線道路改良工事

- メールを送付した後は、必ず提出先の契約課工事契約第2係へ「送付した旨」を電話連絡してください。

(3) 受付期間

令和7年11月21日（金） から 令和7年11月25日（火）まで

※ 閉庁時間を除きます。

※ 最終日の受付は15時までとします。

※ 第一順位者が変更となった場合、新たに提出を求める場合があります。

(4) 提出先

さいたま市 財政局 契約管理部 契約課（工事契約第2係）

メールアドレス keiyaku@city.saitama.lg.jp

連絡先 048-829-1898（直通）

(5) 提出書類

- ① 全ての技術資料を1つのPDFファイルに変換して提出してください。
作成方法については、「さいたま市総合評価方式 入札に関する書類作成の手引き（入札参加者用）」を参照してください。

(<https://www.city.saitama.jp/005/001/017/003/p013455.html>)

＜ 注意事項 ＞

- 提出書類は、「技術資料表紙（提出日記入）」と「合併等申告書」を必ず添付のうえ提出してください。
- 複数の案件に参加する場合は、全ての案件について、それぞれ全ての技術資料を提出してください。

8 入札及び開札の日時及び場所

一般競争入札の公告に示している日時及び場所。

9 落札者決定後の入札結果公表

落札者決定後の入札結果の公表については、さいたま市建設工事等に伴う契約情報公表要綱に基づき公表します。

1 0 実施上の留意事項

- (1) 発注者は、技術資料に示された内容が提出者以外のものに知られることのないように取り扱うものとします。
- (2) 技術資料の作成及び提出に要する費用は、提出者の負担とします。
- (3) 提出された技術資料は、技術評価の目的以外に、提出者に無断で使用することはありません。
- (4) 提出された技術資料は、返却しません。
- (5) 自己採点申請書の再提出や技術資料の追加・修正は、認めません。

1 1 質疑・回答

(1) 工事に関する質疑・回答

原則、埼玉県電子入札共同システムにおいて行います。

(2) 自己採点申請書及び技術資料作成に関する問い合わせ

さいたま市 財政局 契約管理部 契約課（工事契約第2係）

連絡先：048-829-1898（直通）